

館林市史 教材版

「ぼんちゃんと学ぼう 館林の歴史」

小学生や中学生が日本の歴史を学習するのにあわせ、時代の単元に合わせて館林で起こっていた出来事をQ&A方式で「ぼんちゃん」が解説する第1部と、市内を8つの地区にわけて地域に残る文化財や寺社、遺跡などを紹介する第2部にわかれています。身近な歴史に関心を持っていただける内容になっています。

横 210 mm × 縦 257 mm
 オールカラー 86 ページ
 価格：1,000 円



表紙



神原康政ぼん

時代にあわせてたくさんの姿に変わるぼんちゃんと一緒に館林の歴史が学べます。

旧石器時代

日本列島に人々が住みはじめたころ、人々はナウマンゾウやオオソウジカなどの大きな動物をつかまえて食料とするくらしをしていました。

ぼんちゃん教で
 1 いっごころから館林に人が住み、どんなくらしをしていましたか？

今から1万6000年前よりも古い時代を旧石器時代といい、そのころには館林にも人が住んでいました。市内にはこの時代の遺跡が約10か所あり、黒曜石などの石でつくった道具(石器)が見つかっています。磁器や多々良産近の、少し高くなっている場所に住んでいたことがわかっています。p.78-81ページを見てね！

石器時代の遺跡が見つかった地域

黒曜石(黒い石)は、山を削った、打りに使うと、おもしろい輝きをもちます。

黒曜石(黒い石)は、山を削った、打りに使うと、おもしろい輝きをもちます。

縄文時代

群馬県の三河内川遺跡では、今から約5500年前から約1500年にかけて、人々がくらしたと見つかっています。このころの人は、おにも縄を紡がせてよむげた土器(縄文土器)を使い、磁器を器でも作っていました。このような時代を縄文時代といい、1万年近く続きました。

ぼんちゃん教で
 2 館林にも縄文時代の遺跡はありますか？縄文土器も見つかっていますか？

館林市内には縄文時代の遺跡が約40か所あります。人々は川や沼のまわりの高い場所、縄文土器をつくらせて住んでいました。遺跡からはいろいろなものが出土した縄文土器がたくさん見つかっています。また、矢じりや茶などの石器もたくさん見つかっています。p.78-81ページを見てね！

縄文時代の遺跡が見つかった地域

縄文土器は、川や沼のまわりの高い場所、縄文土器をつくらせて住んでいました。遺跡からはいろいろなものが出土した縄文土器がたくさん見つかっています。また、矢じりや茶などの石器もたくさん見つかっています。

第1部見本

館林城の歴史を伝える場所

館林城の建物は、明治時代のはじめの火災などでほとんど失われてしまいましたが、土塁や堀跡など、城の名残を今も見つけることができます。向井千秋記念子ども科学館の南には茶臼の土塁が、東には館林城を守るために築かれた八幡宮が見られます(市指定史跡「館林城本丸土塁および八幡宮」)。文化会館や図書館がある場所は今までの三の丸で、土塁が残り、城の出入口の一つ「土堀」が残っています(市指定史跡「館林城跡」)。また、第二資料館の敷地には、館林城の石垣に使われていた石(御加石・石)が展示されています。館林城や城下町を巡るには土塁と堀は、第一中学校の北側や、朝日町などでも見ることができます。

本丸の土塁

三の丸の土塁と土堀門

館林城の石垣の石(第二資料館内)

歴史の小径を歩いてみよう

歴史の小径のルートとおもな建造物

この小径は、館林城跡から城下町まで約3kmの道のりです。城下町を巡る歴史を学ぶことができます。また、城下町の歴史を学ぶことができます。

この小径は、館林城跡から城下町まで約3kmの道のりです。城下町を巡る歴史を学ぶことができます。また、城下町の歴史を学ぶことができます。

第2部見本

※市内小学6年生に配布しています。